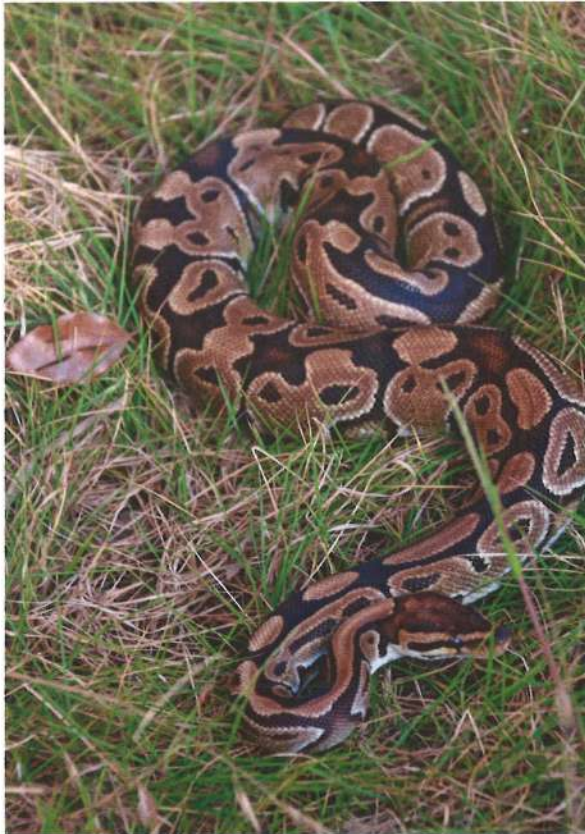


もくじ

- 新年を迎えて…… 1
- 新マラソン大会… 2
- 事業活動報告 …… 2~3
- 支部長からの年賀状 …… 4~5
- 宮田芸術祭 …… 6
- 宮田の昔⑦ …… 6



宮田学区
コミュニティ推進会
第124号
令和7年1月1日発行
〈発行〉岩間廣道
〈編集〉広報部
〈印刷〉(有)オーバル
プリント



地域の皆様におかれましては、晴れやかにお健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。昨年は、元日から石川県



宮田学区コミュニティ推進会
会長 岩間 廣道

新年、明けましておめでとうございます。

能登地方での地震・津波災害をはじめとして、日本ばかりか世界中で異常気象と呼ばれた風水害によつて翻弄された《禍の年》でありました。このような災害に見舞われた際の「想定外」という言葉が、メディア報道ではあまり使われなくなりました。どうやら「想定内」に基準変更したように感じられます。



題字・高田瑞穂

災害を未然にという「防災」はむずかしく、被害を最小にとの「減災」を目指す方向性は、一昨年の浸水被害を受けた当市でも同様で、地下駐車場のかさ上げではなく、止水板を採用するようです。当推進会も、被災後を想定した訓練を重視するよう、お願いしました。市が推進しようとしているデジタル化は、被災後は機能しない可能性もあり、違う方法が必要ではないかと考えます。

高齡化が進む今、互助の精神が求められるとともに、地域住民の推進会の行事や防災訓練への参加が「明るいまち宮田」の構築につながります。本年も皆様にとって幸多い年とお祈り申し上げます。

明けましておめでとございます。昨年は食料品の値上げや米不足など、日常生活で不安を感じた一年でした。今年は、どのような年になるのでしょうか。政治に頼れない今日、よいお年にと、せめて神頼みでもしようではありませんか。ところで、初詣にはもう行きましたか。その際「御籤」(おみくじ)を引くことを楽しみにしている方も多いのではありませんか。御御籤を引くとは、物事を始めるにあたって、まず神仏のご意思を仰ぐという宗教上の行いらしいです。そうは言うものの御御籤を開くまではハラハラドキドキ。吉だ、凶だと一喜一憂するのも楽しいですね。御御籤を読んだ後、どうしますか。神社内の神木に結びつけておくことが多いですね。神様と縁を結ぶというので木に結びつけるのだそうです。勿論、持ち帰ってもよいそうです。御御籤を引き、一年を占ってみるのも楽しいことではありませんか。へK・H



ひたちシーサイドマラソン 2024大会が初開催!

11月17日(日)、日本陸連公認のフルマラソン「ひたちシーサイドマラソン」が日立市内にて初めて実施されました。北海道から沖縄までエントリー者4876名が日立市総合運動公園に集結し、午前10時の一斉スタートに臨みました。

当日の朝はあいにくの雨模様でしたが、その後は蒸し蒸しとした27度を超える真夏日となりました。

当推進会は、市民会館前信号から北上、亀甲堂薬局前信号を右折、けやき通りに至る高野接骨院前信号ま



での区間を担当しました。

大会ゲストには、2000年シドニー五輪で金メダリストとなった高橋尚子氏、元カンボジアマラソン代表の猫ひろし氏、先のパリパラリンピック視覚障害者レースの伴走を務めた「こわだ君」の3名が出場しました。

街頭応援者とのふれあいを楽しませ、大会を盛り上げていただきました。

この大会のボランティアに関わった人数は、約1800名ほどで、宮田を含む23のコミュニティからは約700名を動員しての参加でした。

当推進会参加者の方々から次大会実施に向けた要望をいくつか紹介します。

- ① 走路員ブルゾンは、フード付きにしてほしい。
 - ② コースへ自動車を持ち入れようとすると住民が2、3名いた。交通規制の徹底を強化してほしい。
 - ③ 走路員にも年齢制限があってもいいと思う。
- 以上、当推進会から上がった「声」でした。

歴史探訪

近代絹産業を育んだ富岡

10月13日(日)、群馬県の富岡製糸場を訪ねました。

昔々、日本の本國では古代から養蚕が盛んでした。その頃、絹糸は生産地によって生産管理がバラバラでした。太い細いはあたり前で、糸練りによるプツツン後の結び目などもそのまま残っていたものです。

それでも、滑らかな肌ざわりと艶やかな光沢を人々は貴重な物品と認識し、外国貿易の主要な産業になりました。海外からも、たいしてクレームめいた要求はなかったようです。そして、日本は世界でも指折りの絹



糸生産国となったのです。

そんな絹糸市場も、近世(明治時代)ともなると、産業界にも革命が起こってきます。それまで糸の品質などに無頓着だった世界は一転、均一化された製品を要求しはじめます。今までは独壇場だった絹糸が売れなくなってきました。それまでの養蚕農家頼みだったものを国家政策として絹糸生産に取り組みはじめます。外国から機械を購入し、外国人技師を高い給料で雇い入れ、全国から技術者養成所入学者を募集し、技術を教える教師を大量に増やそうと考えました。こうして富岡の地に初めての技術者養成所が生まれたのです。

候補地はいくつかあったようですが、富岡には製糸業に欠かせぬ「水」、「人」、「蚕」が付近に点在していました。私見ですが、スポンサーの噂があった澁沢栄一の出身地、深谷市に近かったからなのでしょう。

生涯学習部

部長 岩間 廣道

ふれあいまつり 中止に伴って

令和6年度「みやたふれあいまつり」を11月3日に実施する予定でしたが、前日の大雨で事前準備ができずに中止の決定をしました。町内会や子どもの減少、地域間の交流がないなどの問題を踏まえて「地域の輪を広げよう」をテーマに、本部スタッフで計画を練り、運営・実行委員会を得て、後は実施するのみでした。

宮田小学校や駒王中学校より機材等の提供、吹奏楽の演奏、ボランティア等の協力もいただいていたのに実施できず、残念です。計画段階で競技や準備等等问题がありました。次回に生かしてまいります。

賞品の利用については、①食料品は、社協フードBOXへの提供、ホームページや交流センター窓口に掲載して販売中です。②図書券は、他の行事に利用します。③駄菓子袋は、賞味期限の関係で検討中です。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

実行委員長 小野崎 照夫

防犯事例報告

宮田学区に住む皆さんが安全・安心に暮らせる一助になればと「防犯講演会」で講師による犯罪事例と聴講者の経験談から、重要と思うものを報告します。

◎自動車の盗難

最近の窃盗事件では、自動車、銅線などの金属盗難が増えています。特に、車両の盗難にはリレーアタックという巧妙な手口があります。便利なスマートキーが発する微弱な電波を特殊な機器を使ってキャッチして増幅させ、この電波を車両まで中継することでドアロックの解除やエンジンの始動が可能になります。外に電波が届かないようにスマートキーを玄関から離れた部屋に保管すること、玄関に置く場合には電波を遮断する金属製の缶やアルミホイールの中に鍵を入れるなどの対策が有効です。

◎不審者の訪問

社名のない車から降り、

根直し業者と名乗る人物が「お宅の鬼瓦が曲がっているから修理した方がいい」とか「屋根根が上がって点検して上げましょう」とか言ってくる。修理の押し売りか、強盗やその下見の可能性があり、知り合いに頼むからいいなどと言いつつ断りましょう。それでも、しつこく話してくるようなら家に入ってドアを閉め、110番通報してください。後日、同じ人物が別の所で「ガスが臭い」と言いつつ家に入ろうとしたそうです。また「何でも買います」と家上がり、高価な指輪や金杯などがなければ帰ってしまうそうです。アパートの住人を狙う住宅のセールスマンもいます。家が上がって話し始めたら、契約が取れるまで居座り続けます。家にいる時も玄関のドアや窓の鍵をかけ、不審な業者が訪問してきても絶対に家に入れないことが必要です。

◎架空請求はがき

裁判所の名前で、身に覚えのない高額な未払い金請求書が封書でなくはがきで

来たら詐欺です。処分するか警察に相談しましょう。

◎電話・SNS(LINEなど)による詐欺

警察官などを名乗る人物が電話で「あなたに犯罪の容疑がかかっている」などと伝えた後、LINEで偽の警察手帳や逮捕状を示すなどして不安をあおり、金銭をだまし取る詐欺が茨城県内で急増しています。

◎留守電の勧め

電話で詐欺に遭わないためにも、迷惑なセールス電話への対応を避けるためにも、常時留守電にしておくことを強く勧めます。最近急増しているアポ電強盗対策にも有効です。電話をかける側も防犯対策の留守電にイラッとせずにご理解ください。多少不便ですが、名前と要件を残し、折り返し電話を待ちましょう。人の心の隙につけ込む新たな手口の犯罪が次々と出てきます。日頃から防犯情報を収集して、犯罪に遭わないように努めましょう。

防災・防犯部

部長 山本朝男

日立の魅力

再発見ウォーク

まだ暑さが収まらない10月12日(土)、再発見ウォークを実施しました。

今年度は「宮田の名所・旧跡を散策しよう」をテーマに、郷土博物館で日立の歴史を学びました。その後、小幡阿弥陀堂の木彫りの仏像、本宮の保存林などの名所を27名で巡りました。

郷土博物館では、特別企画展「庄屋・関馬之允が向き合った日立の600年」が展示されており、概要について説明がありました。次に神峰神社に向かうと、

運よく「日立風流物」ささら3頭の獅子の手入れ(風通し)を見学できました。続いて天王様が祀られている荒屋神社、お薬師さま、耳だれ観音などを散策、有意義な一日となりました。

日立地区4コートゲーム大会開催

11月10日(日)、中小路小学校体育館において「第9回日立地区4コートゲーム大会」が、地域の体育振興と学区間の交流を目的に

開催されました。

この大会は、仲町、助川、会瀬、中小路、宮田の5学区のコミュニティ推進会から各学区2チームが参加して行われました。宮田学区では「みやたはつらつ」と「みやたげんき」の13名が参加しました。

競技方法は、10チームをA・Bブロックに分けて予選を行い、各ブロックの上位2チームで決勝を戦います。宮田学区の2チームとも順調に勝ち進みました。競技結果は、みやたはつらつが準優勝、みやたげんきが4位でした。どちらもドキドキの大接戦でした。



文化体育部

部長 大和田豊克



北町支部
水庭亮三

新年、明けましておめでとうございます。

当支部は、宮田コミュニティ推進会の中でも最大の世帯数で構成されている支部です。最近、日本各地でコミュニティ活動の衰退が危惧されていますが、当支部においても同様の環境に置かれている状況です。

特に、活動拠点でありました北町公民館がなくなり、何かにつけての交流が図りづらくなっています。要因はいろいろありますが、構成員の高齢化、子どもの減少、町内会からの脱退、勤労世帯の屋間不在などが挙げられます。

それに加え、老人会をはじめ、婦人会や子ども会、自警団、お悔やみの常会取り仕切りがここ数年の間に消滅し、現在では北町町内会、北町ふれあいサロン、北町風流物保存会が活動し

ている状況であります。

このような状況を踏まえ、今後の支部の活動をどのように進めていけばいいのか、試行錯誤を繰り返し、効果的な活動を見出し、いく

必要があります。そのためにも、今後とも支部の皆様方にご協力を願うばかりであります。

本町支部
佐藤 裕

本町支部の皆様、令和6年度は会の行事への参加などで大変お世話になり、ありがとうございました。

まず、夏の大きな行事である「愛宕神社祭礼」は、残念ながら会員の減少などにより「本祭り」のみの開催となりました。しかし、秋に実施した「焼きそばの会」には多くの方々が参加され、大変楽しいひと時を過ごすことができました。

現在、本町支部だけでなく、宮田地区の多くの支部におきましては、退会者の

増加と加入者の減少という町内会の維持運営がますます困難な状況にあります。

昔から「遠くの親戚より近くの他人」という言葉があります。いざという時、日頃のつき合いが大きな力となり、幾多の困難も乗り越えることができるというものです。

災害が多い昨今だからこそ、地域行事への参加について、いま一度考えてみる時期に来ていると感じています。昭和から平成、令和と時代の大きな変化がありました。自分たちの愛する地域は、みんな協力して守っていきましょう。



清幡支部
大和田 典義

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、旧年中はコミュニティ活動へご協力いただき、誠にありがとうございました。2025年は「乙巳」へ

びの年です。蛇は「再生」や「成長」を象徴する動物として、新たなスタートを切る力強さを感じさせます。今年も皆様にとつて、成長と飛躍の一年となりますように祈念いたします。

さて、支部長としての私の任期も残り4カ月となりました。合同防災訓練、みやたふれあいまつりなど、大きな行事は残念ながら中止となりましたが、コミュニティの様々な活動を通して多くのことを学ばせていただいています。

残りの期間も地域の皆様とともに、さらに明るく、安心して暮らせるコミュニティづくりを進めていけるよう努めてまいりますので、引き続きご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

足房支部
船橋 良則

新年、明けましておめでとうございます。

近年の支部活動状況につきましては、町内会からの退会をはじめ、高齢化による役員免除、輪番制での役員選出、学校行事への参加

者の減少など、取りまとめるのに苦慮しています。それでも、小規模組織のまとまりと「全員が知人」である利点を生かしつつ、学区事業に対応しています。

そのため、皆様には行事の参加について無理なお願いをしたりしてはいますが、常に理解と協力をいただいで感謝しています。

そんな中「今年も頑張ろうね」が皆さんの合い言葉となっている「みやたふれあいまつり」の模擬店出店に向け、準備万端にして構えていました。ところが、数日前からの荒天候の予報で中止となりました。

ここ数年は、学区の方から「支援活動援助金」が支給され、それによって町内会費徴収の一時停止もあり、平素の交流も少なくなっています。年に一度のふれあいまつりが皆さんの親睦の場になっていたので、残念でした。

今後も、学区行事には積極的に参加してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。





生保内支部
阿久津 久

新年、明けましておめで
とうございます。今年こそ
は、災害のない穏やかな年
になることを心から願って
います。

今年の干支は「乙巳」(き
のとみ)、(いっしー漢音)と
も読みます。1380年前
乙巳の乱(大化の改新)が
起こり、これをきっかけに
豪族支配の社会から天皇制
による「律令社会」が始ま
りました。

改革されてから、日本の
歴史は時代によって様々な
事柄を経て現在に至ってい
ますが、昨今の社会情勢は
少子化問題と高齢化問題が
地域社会を圧迫している状
況にあります。

町内会から子ども会がな
くなり、また高齢化でコミ
ュニティの役割を果たせな
いなどの理由で町内会から
の離脱が増えています。今
や町内会は、
当初の2割に
まで減少して
います。

それでも、
現在のメンバ



1でコミュニティ事業に参
加していきたいと思ってい
ます。ぜひ、今年こそ改革
を進めてまいりますので、
どうぞ皆様の協力をお願い
いたします。



神田支部
大和田 元康

明けましておめでどうご
ざいます。

75年の歴史に幕を閉じた
宮田神田町内会が神田支部
として再出発してから、早
や3年が経とうとしていま
す。皆様のご協力をいただ
き、自主防災幹事会を中心
に様々な活動を進めてきま
した。駒王中学校の旧テニ
スコート跡地の草刈りをは
じめ、防災行事への参加、
みやたふれあいまつりへの
参加など、親睦を図りなが
ら楽しく活動を推進してく
ることができました。

昨年のふれあいまつりに
は40人を超える方の参加を
いただき、準備万端で当日
を迎えようとしていました
が、悪天候の予報で中止に
なりました。本当に残念に
思いましたが、来年度こそ
は2年分の思いを込めて、
香ばしい焼き団子やおいし

いソフトクリ
ームを提供し
ようと考えて
います。
唯一よかつ
たことは、ま
つり予定の11月3日が結婚
記念日というご夫妻がおら
れ、当日は二人で食事に出
かけることができたとの話
が聞けたことです。70歳を
過ぎて結婚記念日を大切に
される素敵なお家庭に、未
永く幸あれと願いました。



東町一区支部
小澤 泰男

明けましておめでどうご
ざいます。今年もよろしく
お願いいたします。

昨年は、コロナの影響で
ほとんど支部活動ができま
せんでした。今年こそは、
以前のように地道に支部活
動を行っていききたいと考
えています。そのためには、
各部の方々と地域の皆さん
の声に耳を傾け、参加者が
多くなるような楽しい活動
を計画していかなければな
りません。

そこで、親子でも高齢者
でも気軽に参加できるゲー
ム大会を開催し、お互いの



東町二区支部
遠藤 利秀

親睦を図ったり、参加する
楽しさを体験してもらおうこ
とが重要です。そのため
は、お互いに声をかけ合う
ことから始めていきます。
次に、広報活動を広める
ことです。参加したくなる
ようなイラストや文言を入
れることです。まず行動し
て参加者の意見を聞き、次
の行事に盛り込むことで、
支部活動の活
性化を図って
まいります。
どうぞ、ご
協力をお願い
いたします。



新年、明けましておめで
とうございます。
今年「きのと」巳の年
です。きのととは、困難が
あっても紆余曲折しながら
進むということを表してい
ます。巳(みへび)は、再
生と進化を意味します。き
のと巳には「努力を重ね、
物事を安定させていく」と、
縁起のよさを表します。

近年の気候変動による夏
の酷暑やウイルスによるパ
ンデミックなど、私たちに



大平AP支部
海老沢 正徳

明けましておめでどうご
ざいます。

昨年は、大きな行事が中
止になって残念でしたが、
その他の行事は皆様の協力
のおかげで無事に終えるこ
とができました。ありがと
うございました。

支部長の職も今年の3月
までの予定ですが、本年も
当支部をよろ
しくお願い
いたします。皆
様の健康とご
多幸をお祈り
いたします。



初の宮田芸術祭を開催

今年度の9月と、11月から1月にわたり、文化的要素のあふれた作品を「宮田芸術祭」と銘打ち、展示会を開催しました。

当推進会には、グラウンドゴルフやニュースポーツなど、運動系の大会や発表の機会があります。が、文化系のそれは途絶えています。地域住民の皆様の中には、様々な理由で運動が苦手とする方も多いようです。せつかくの活動の結果発表の場を提供させていただきたい気持ちからの実施です。

今回の作品展示は、9月



扇 清光氏作品



鈴木 勤氏作品

に扇 清光氏と鈴木 勤氏が出品、11月が竹蓋年男氏と切り絵教室の参加者一同、12月は蛭田智美氏がそれぞれ出品され、年明けの1月には大野ゆき子氏の展示が決まっています。

交流センターでは独自イベントとして、年2回の奉仕作業や消防訓練、また推進会イベントの補助などを展開してまいりました。次年度からは、利用団体等の成果発表の場所提供として働きかけをすることも視野に入れていく考えています。推進会のメンバーとも協議してまいります。

宮田交流センター

運営委員会

委員長 岩間 廣道

写真で見る宮田の昔⑦

神峰保育所卒園式

保育所前で卒園記念に収まる園児とその父兄、先生方。園児が手にしている記念品は、筆箱です。神峰保育所は、茨城県下に先がけて宮田町に昭和25年4月18日に開設されました。この写真は、同じ町内にあった小室写真館の小室幸さんが、昭和45年に撮影しました。

小室さんは、東京の東條写真館に勤め、写真に興味をもってオリエンタル写真



学校で撮影技術を学びました。昭和5年頃、日立町宮田栄町に開業しました。当時、カメラに取り付けたのはフィルムではなく、ガラス板の片面に感光乳材を塗った写真乾板でした。戦前、戦中の乾板は戦災で失われ、昭和30〜40年代の3800枚が残り、結婚式の数は圧倒的です。その他、初節句や七五三、入学式など、人の一生の節目を撮ったほか、遠足や修学旅行の写真があります。当博物館では寄贈された乾板をボランティアの方に整理していただき、一部をホームページで公開しています。「収納品データベース」からキーワードに「小室写真館」と入力し、分類「歴史写真」を選択して検索してください。館内に設置したパソコンから閲覧することもできます。

小室さんは72歳までカメラのシャッターを切り、昭和49年1月に

小室写真館は閉館しました。地域の写真師たちが共通して持っていたまなざしをご覧ください。

日立市郷土博物館
研究員 萩原 明子

絵本でえいご ラボ・パーティ
生徒募集中! 随時体験会受付中!
(幼児・小学生)
英語との出会いを
素敵な絵本で楽しみましょう

指導: 佐藤 世津子

☎ 080-5086-4521

QRコードから
茨城県・日立市・宮田町で検索



編集後記

- ▼「宮田まなざし」第124号をお届けします。
- ▼令和7年を迎え、新しい年明けとなりました。
- ▼昨年は、気候の関係で中止になった行事がありましたが、今年こそは笑顔で皆様と会える日が一日でも多くありますように願っております。
- ▼本年もコミュニティの皆様にご協力をお願いします。